

令和6年3月22日

新見市長
戎 斉 様

新見市議会議長
榎 日出男

子育て支援並びに子育て環境の改善に関する提言書

貴職におかれましては、平素より本市行政のトップとして多くの課題解決に向け、鋭意ご尽力を賜り、その御労苦に敬意を表する次第です。

さて、少子高齢化、人口流出等により人口減少著しい本市にあって、若者世代や子育て世代に寄り添い、それぞれの世代への支援を充実・発展させることは、今最も必要とされる行政課題と考えます。

そこで、本市議会では、昨年11月16日から18日までの3日間、これまでの議会報告・意見交換会の在り方を見直し、市内全域の子育て世代の方々を対象にした、議会報告・意見交換会を実施いたしました。ワークショップ形式により、本市の子育て支援の在り方や子育てにテーマを絞り、総勢90人から140余りの意見や提案を聴取いたしました。

本市議会においては、いただいた140余りの意見や要望を分類し、総務消防常任委員会、文教福祉常任委員会、産業建設常任委員会で慎重に審議を行い、それらの意見を重点化・集約化し、別紙により市長に提言することにいたしました。また、併せて、それらの意見や要望をもとに議会としての提言も付すものであります。

若者世代や子育て世代への支援の在り方は、今後、10年先、20年先の新見市の命運を左右するといっても過言ではありません。新見市が新見市で有り続けるため、そこに住む若い世代が、新見市に住んでいて本当に良かったと実感していただけるため、市長におかれましては、今回の提言を重く受け止めていただき、英断をもって、施策に反映していただきますようお願いのほど、よろしく願い申し上げます。

なお、今回の取組（①どのような意見や要望があったか②市議会としてどう審議し、取り扱ったか③政策にどう反映されたか）につきましては、「新見市議会だより」の紙面に掲載し、情報公開させていただくことを申し添えます。

(別紙)

子育て支援並びに子育て環境の改善に関する提言書

1 高校生への通学補助の見直しをしていただきたい

「高校魅力化推進事業」で実施している市内高校通学者への定期券購入補助は、市外高校への通学者は対象とならず、公平性の観点からも、拡充していただきたい。

【議会としての提言】

○市内高校通学者への定期券購入補助は、目的とした高校魅力化に繋がっておらず、また市外高校へ通学させる保護者に不公平感を抱かせる施策でもある。定期券購入補助を廃止し、その財源を高校魅力化事業や他の子育て支援に充ててもよいのではないか。

2 新見高校の魅力化に取り組んでいただきたい

行政として、補助金関係の支援だけでなく、もっと幅広い視野に立っての支援を考えていく必要があるのではないか。

【議会としての提言】

○平成29年に発足した「明日の新見高校を考える会」は、新見高校のより望ましい存続を求め、これまで県教育委員会への働きかけや要望書を提出するなどの活動を行ってきた。しかし、新型コロナ禍の影響や進学希望者の激減により、現在の活動はやや停滞気味のように思われる。こうした状況を打開するには、本会の活動を活性化させ、例えば「新見高校魅力化推進プロジェクトチーム」を創設することが望ましいのではないかと考える。また、現在、会長は市長が務めているが、民間人から選出することが望ましい。

○高校の魅力化を強力に推進し、より望ましい存続を維持するためには、現在の行政サイドの体制では不十分である。進学対象者が中学生であるので、教育委員会が主体となって「新見高校存続の対策チーム」を創設し、万難を排し取り組んでいただきたい。

○中学生の希望等を踏まえた新見高校の部活動を再編するよう尽力、支援をしていただきたい。

3 子育て世代への住宅支援を拡充していただきたい

本市は中山間地域にもかかわらず、土地の購入や住宅の新築・改築等が高いと感じる。子育て世代への住宅支援をさらに拡充していただきたい。

【議会としての提言】

○子育て世代にとっては、住宅取得は大きな関心事である。子育て世代の定住を推進する上でも住宅支援のさらなる拡充が必要と考える。また、補助金等については、市内外の業者を問わず柔軟に対応されるよう求める。

4 子育て世代への経済的支援を充実していただきたい

特に、出産祝い金、おむつ代、一人親家庭への支援、高校・大学等への補助などをさらに拡充すべく、検討していただきたい。

【議会としての提言】

○限られた予算の中で、これら全ての事項について予算措置をしていくことは困難である。要望のあった事項について、他自治体での取組を調査したり、必要度の高い事項を精査していただき、優先順位を決め、可能な部分の改善を図りたい。

5 相談的支援を充実していただきたい

保健師の支局配置をしていただきたい。

【議会としての提言】

○従前から、各支局に気軽に健康について何でも相談できる保健師を配置してほしいという要望が強く、議会の一般質問においても取り上げられてきた。特に、高齢者や若い子育て世代では、その要望が強く感じられる。市周辺部においては、地域課題を住民自ら解決し、住民相互の協力体制や絆を深くしていこうと取り組まれているが、健康日本21にも謳われているように健康も地域で守るという視点が重要である。各支局に、健康に関して専門的な知見を有する保健師が配置されることこそ、一人一人に寄り添い、地域の誰をも取り残さない保健行政に通じるのではないかと考える。議会としても、保健師の支局配置を強く求める。

6 子育て世代に安心な医療体制を構築していただきたい

自分で安心して出産できる医療体制を望む。また、従前から本市の課題とされてきた小児科医療の充実や夜間の診療体制の整備を進めていただきたい。

【議会としての提言】

○小児科医療の夜間診療体制の充実は、従来から指摘されてきたが、解決の糸口が見えない課題とも言える。しかしながら、次のような点の改善を図ることによって、保護者の不安感をある程度払拭できるのではないかと考える。

- ①万一子どもが急な病気やけがをした時の応急処置の仕方、子どもの病名などを学ぶ小児医療についての講座を開く。（新見公立大等と連携）
- ②万一の場合の、相談体制の周知徹底を図る。
- ③万一の場合の、救急車による搬送、病院での治療についての情報の発信及び連携ネットワークをしっかりと構築し、周知徹底を図る。

7 キッズスペースや子どもの遊び場などの環境改善に努めていただきたい

公共施設や民間施設におむつ交換ができる場所を確保していただきたい。また、子どもの遊び場や親子でリラックスできる場所などを考慮した環境改善を推進していただきたい。

【 議会としての提言 】

○令和5年11月に、産官学で「こどもまんなか応援サポーター宣言」をした本市である。公共施設はもちろんのこと、民間施設においても子どもやその保護者のための環境整備を支援するための補助（交付金）制度の創設を強く求める。

8 放課後児童クラブの運営を見直していただきたい

現在、放課後児童クラブの運営は、保護者が行っているが、負担が大きいと感じる。運営形態を中心に、学童保育全般について見直しを行い、より利用しやすいよう改善を図っていただきたい。

【 議会としての提言 】

○放課後児童クラブは、核家族で働く保護者にとっては、大きな助けとなっているが、運営に携わる保護者にとっては、大きな負担を感じるようである。会計も含め、その運営を教育委員会、もしくは民間委託するなどの措置を求めたい。また、放課後児童クラブで利用している施設が十分かどうかの調査の実施や、不足しがちな指導員への待遇改善等も検討していただきたい。

9 部活動の地域移行について、方向性や在り方等について早めに示していただきたい

部活動の地域移行は中学生はもちろん保護者にとっても大きな関心事である。市教育委員会におかれては、粛々と準備を進められていると思うが、早め早めに進捗状況を説明する機会を設けるなどの対応をお願いしたい。

【 議会としての提言 】

○部活動の地域移行については、保護者に対して、その都度、準備や進捗の状況、課題、今後の見通しなどについての丁寧な情報提供が強く望まれる。

10 学校教育の質向上と不登校問題克服に全力で努めていただきたい

教職員の働き方改革の必要性は理解できるが、学力の低下や不登校児童生徒の発生率の高さなど、市内小中学校の現場では、これら多くの課題が見られる。市教育委員会と学校現場がしっかり連携し、教育の質の充実と改善を図っていただきたい。

【 議会としての提言 】

○不登校や学力の問題に関しては、市民の間からも不安視する声をよく耳にする状況である。どちらの課題もデリケートな問題であるため、公には話題にされることは少ないが、保護者の中には不安が鬱積されていると思われる。児童生徒の不登校を、どのような手段方法で改善していくのか、また、学力低下の原因分析とその改善方法につきも、教育委員会の真摯な取組が見えてこない。出せる情報はもっと積極的に開示していただきたい。同時に広く市民参加を得ての、「不登校の改善及び学力向上に関する教育会議」の設置も検討したい。

11 子どもの遊び場の充実に努めていただきたい

子どもが自由に遊べる公園や施設が少ない。市周辺部の保護者が、休日に正田にある「憩いとふれあいの公園」に子どもを連れてきて遊ばせている状況である。

【 議会としての提言 】

- 旧4町を中心に周辺エリアについて、子どもたちや若者の遊びの拠点として、各種遊具、アスレチック、スケートボード設備等を設置した遊び場や公園の整備を求める。
- 「スケートパーク」の整備や、公園での子どもたちのボール遊びができる時間の棲み分け等のルール作りを求めたい。

12 商業施設の誘致に努めていただきたい

市周辺部には商業施設が少なく、子どもはもとより、大人も買い物に不自由している状況にある。人口減少で仕方がない側面はあるが、少しでも改善できるよう努めていただきたい。また、特に市中心部には、若者向けのファーストフード店、カフェ、衣料品などのチェーン店を誘致していただきたい。

【 議会としての提言 】

- 小売店がなくなった地域については、例えば地域運営組織に対し、行政支援のもとに小売店の復活を進めていただきたい。